

国会闘争速報

2006年12月15日 第40号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkai tousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

議面に押し寄せ、強行を弾劾

安倍打倒し、改悪教基法の成立阻止しよう

18時過ぎ、安倍首相が欠席し
ている異例の状態で、突如議長

が「賛成の方は起立を」と言い、
次の瞬間「賛成多数」と宣言し

た。この茶番直
後、参議院議員

面会所前は一千
名にもならん

とする、ものす
ごい怒りと弾劾

が押し寄せた。
「採決を撤回し

ろ！」「どこが
賛成多数だ！」

「絶対に阻止す
るぞー」。かす

れ声を腹の底か
らはりあげ、コ

ブシを振りあげ
て、今にも議場

に突入するよう
な迫りだ。衛士

が必死で規制す
るが、議面前は

立錐の余地もな
かった。

12月14日、ハ
ンスト隊は早朝

から強行採決阻止の
行動を全力で行って

いた。朝8時半から
シユプレヒコールを

国会に叩きつけ、マ
イク・アピールを開

始。すでに国会前は
端から端まで座り込

み状態だ。70名の北
教組、50名の大分、

石川をはじめ、全国
の教育労働者が固唾

をのんで集まった。
全国連絡会の座り込

みにも若者が集まっている。他
方、朝鮮総連は、安倍政権の経

済制裁と、在日への迫害・弾圧
に対する抗議行動をこの日も

行った。
ハンスト・座り込み隊の集会

は、11時と17時の二回にわたっ
て行われた。ハンスト者を先頭

に、教育現場からの激しい怒り
が次々発言された。

また、動労千葉など3労組が
呼びかけた11・5労働者集会実

主催の国会前集会が14時・16時
と二回行われ、労働運動の重大
課題として教基法改悪絶対阻止
をたたかう立場が各産別から表
明されていた。
18時からの全国連絡会の集会
は三千人の大結集だった。改悪
案の成立を絶対に許さないとい
う全国の怒りがほとぼしり、強
行採決弾劾のシユプレヒコール
が、繰り返し首相官邸に叩きつ
けられた。



● 勤労千葉・田中委員長：怒りの気持ちを抑えることができない。自民党・公明党の代議士は戦争を

やりたい連中だ。こういう連中が教基法を改悪して戦争に踏み出そうとしている。こんなことが許せるのか。この

国会の建物はすべて労働者がつくったものだ。しかし、国会・国家という仕組みは彼らが勝手につくったものだ。その仕組みを使って戦争しようとしている。日教組は戦後一貫して「教え子を戦場に送るな」のスローガンを守り抜いてきた。しかし今の日教組委員長はなんだ。たたかう教育労働者に対する裏切りだ。労働者が食っていけないような現実を強制する支配者を打倒して、社会を変えていこう。

● 北教組Mさん：北海道から70名で来て座り込んでいる。たかだか100万円です。ヤラセのカタをつけるな。政府法案を撤回してはじめて責任というんだ。あろうことか採決強行した。ファシストだ。これは絶対に許せない。民主教育を守る砦としてこれからもたたかう。安倍は格差社会・格差教育を肯定し、本当に弱い立場の存在を差別・選別していく。この醜い安倍政権を一秒たりとも生き残らせてはならない。

● ハンスト者・Sさん：私はハンスト19日目に入りました。税金を使って

偽装された世論のなかで審議など無効だ。全国各地で公聴会をやった直後に論点整理もなしに採決だ。はじめから聞く気がないじゃないか。安倍や伊吹は、教基法改悪案は改憲案と整合性をもたせていると言った。つまり、教基法改悪案は現憲法に違反しているのだ。絶対に許さない。

● ハンスト者・千葉高教組Tさん：国会内で今やっている人は一人ひとりの人間を大切にしようとは思っていない。国が先にあつてその下に人間がいると思っている。この二週間、僕は沖縄



修学旅行をはさんで毎日国会にきている。一人ひとりを大事にする私たちが勝つのか、労働者を切り捨てて若者には仕事がない世の中をつくらせていく彼らが勝つのか。その対決だ。

● 都教委包囲ネットWさん：今日は国会前は最大級の結集です。ヤラセが明確になった。新聞もようやく取り上げ始めた。闘いは広がっている。最後の最後までたたかう。必ず法案を廃案にしよう。法案が強行採決されても醜い安倍政権を倒して撤回させましょう。

● 被処分者・Fさん：安倍は100万円です。教基法を買った。冗談じゃない。間違つたというなら撤回する、それが規範意識ではないのか。安倍は国際的にも恥ずかしい国をつくっている。私

安倍は「やらせ」の首謀者 文科省前広報室長が指示

タウンミーティングの「やらせ質問」問題で、給与の一部返納を決めた安倍首相が14日の参院教基法特別委で、「お金で済まず問題ではない」と野党議員から批判された際、「失礼ではないか。（公務員のけじめのつけ方は）減給などの処分方法が決まっている」と反論したという。だが、安倍は「やらせTM」の首謀者ではないか。首相を辞任し、政治家を辞めるべき問題だ。

は争いのない世の中、平和と平等の学校をつくりたい。そのためすべてをかけて教基法改悪を阻止する。それは絶対に多数派のはずだ。ヤラセが必要だったことがその証拠だ。

行動予定

- 15日の国会前座り込み
- ハンスト者、9～18時
- 東京教組、16～18時、
- 都高教、14～16時、北海道教組、他
- 全国連絡会、9～17時
- 百万人署名運動、正午～16時、他
- 15日（金）
- 教基法改悪・共謀罪阻止の国会行動（14時）、主催：11・5集会実行委
- 教基法改悪案成立阻止・国会前集会（18時～19時、主催：全国連絡会）

教育改革TMについての「やらせ」質問はすべて、文科省から内閣府に出向していた役人が当時の安倍官房長官のもとで作成し、各県教委に指示を出していた。この中心にいた文科省の広報室長は、安倍内閣の発足と同時に首相直属の「特命チーム」の一員に取り立てられ、現在は「教育改革」を担当する山谷えり子首相補佐官をサポートする内閣参事官として、「教育再生会議」を切り盛りする役割を受けもっているのではないか。

安倍の責任は過去の話ではない。安倍首相、伊吹文科相らは辞任せよ。